

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月1日

上場会社名 株式会社ジェイテック 上場取引所 東
 コード番号 2479 URL <http://www.j-tec-cor.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤本 幸之助
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐野 清一郎 TEL 03-6228-7265
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,671	53.1	35	218.8	35	186.4	22	180.9
25年3月期第2四半期	1,091	5.1	11	ー	12	37.8	8	△34.8
(注) 包括利益	26年3月期第2四半期		26百万円 (225.7%)		25年3月期第2四半期		8百万円 (△40.3%)	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	2.73	2.63
25年3月期第2四半期	0.97	0.96

(注) 当社は平成25年4月1日をもって普通株式1株につき200株の割合で株式分割しております。なお、平成25年3月期第2四半期の1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	1,087	523	46.9	61.14
25年3月期	1,087	505	45.5	59.24

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 510百万円 25年3月期 494百万円

(注) 当社は平成25年4月1日をもって普通株式1株につき200株の割合で株式分割しております。なお、平成25年3月期の1株当たり純資産は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	ー	0.00	ー	200.00	200.00
26年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
26年3月期（予想）	ー	ー	ー	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は平成25年4月1日をもって普通株式1株につき200株の割合で株式分割しております。なお、平成26年3月期（予想）の期末配当額は当該株式分割の影響を勘案すれば平成25年3月期の期末配当と同水準となります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,193	18.7	77	20.6	78	18.4	49	3.1	5.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	8,349,600株	25年3月期	8,349,600株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,800株	25年3月期	2,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	8,346,800株	25年3月期2Q	8,346,800株

（注）当社は平成25年4月1日をもって普通株式1株につき200株の割合で株式分割しております。なお、発行済株式数（普通株式）は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安の進展による輸出の持ち直しや、政府による各種政策の効果の発現などを背景として企業収益や個人消費動向に改善がみられております。しかしながら欧州政府債務問題の継続、新興国経済の成長鈍化などの世界経済の減速懸念もあり、先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような状況のなか、当社グループの主力事業である技術職知財リース事業の主要取引先である大手製造業では技術開発投資を継続しており、技術開発や製品設計に対応可能な高いスキルをもつ技術者や、早期戦力化が見込める新卒テクノロジストへの需要は底堅く推移しております。そのため新卒テクノロジストについても研修終了後、順次派遣先での就業を開始していることから、当社グループの稼働率は引き続き高い水準を維持しております。

また、平成24年10月1日付で株式会社エル・ジェイ・エンジニアリングを連結子会社化したことにより、従来の機械・電気電子・ソフトウェア分野に加えて、新たに建築分野でのサービス提供を開始しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,671百万円（前年同期比53.1%増）、営業利益35百万円（前年同期比218.8%増）、経常利益35百万円（前年同期比186.4%増）、四半期純利益22百万円（前年同期比180.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①技術職知財リース事業

株式会社エル・ジェイ・エンジニアリングの連結子会社化により新たに建築分野の取引が加わったこと、及び自動車関連等の顧客企業からの取引が前年同期より増加した結果、技術職知財リース事業の売上高は1,616百万円（前年同期比51.6%増）、セグメント利益は181百万円（前年同期比14.0%増）となりました。

②一般派遣及びエンジニア派遣事業

情報処理関連の顧客企業からの取引が前年同期より増加した結果、売上高は54百万円（前年同期比118.3%増）、セグメント利益は9百万円（前年同期比171.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産総額は1,087百万円となり、前連結会計年度末とほぼ同額となりました。これは主に売掛金の増加18百万円があったものの、現金及び預金の減少18百万円があったことによるものであります。

負債総額は564百万円となり、前連結会計年度末より17百万円減少いたしました。これは主に退職給付引当金の増加11百万円、賞与引当金の増加5百万円があったものの、未払費用の減少30百万円があったことによるものであります。また純資産は523百万円となり、前連結会計年度末より17百万円の増加となりました。

なお、自己資本比率は46.9%と前連結会計年度末の45.5%に比べ1.4ポイント上昇いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ18百万円減少（前年同期は31百万円の減少）し、514百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は1百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益35百万円、退職給付引当金の増加額11百万円、未払金の増加額6百万円、賞与引当金の増加額5百万円等による資金の増加があったものの、未払費用の減少額30百万円、売上債権の増加額18百万円、法人税等の支払額16百万円等により資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は4百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出2百万円、無形固定資産の取得による支出2百万円等により資金が減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は12百万円となりました。これは主に配当金の支払額8百万円、短期借入金の減少額4百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月7日公表いたしましたとおり、売上高3,193百万円、営業利益77百万円、経常利益78百万円、当期純利益49百万円としております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	532,881	514,498
売掛金	364,467	383,084
繰延税金資産	33,935	36,271
その他	38,764	41,781
貸倒引当金	△666	△699
流動資産合計	969,382	974,935
固定資産		
有形固定資産	21,459	20,658
無形固定資産	6,448	5,620
投資その他の資産		
敷金及び保証金	73,071	67,020
その他	17,132	19,240
投資その他の資産合計	90,204	86,261
固定資産合計	118,112	112,540
資産合計	1,087,495	1,087,476
負債の部		
流動負債		
短期借入金	78,000	74,000
未払金	108,871	113,129
未払費用	90,053	59,079
未払法人税等	20,785	15,589
賞与引当金	111,465	116,941
その他	54,014	54,180
流動負債合計	463,190	432,920
固定負債		
退職給付引当金	115,314	126,973
その他	3,385	4,209
固定負債合計	118,699	131,183
負債合計	581,889	564,103
純資産の部		
株主資本		
資本金	255,357	255,357
資本剰余金	248,495	240,148
利益剰余金	△11,801	11,011
自己株式	△659	△659
株主資本合計	491,392	505,858
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,083	4,440
その他の包括利益累計額合計	3,083	4,440
新株予約権	460	460
少数株主持分	10,669	12,614
純資産合計	505,605	523,373
負債純資産合計	1,087,495	1,087,476

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	1,091,481	1,671,308
売上原価	778,483	1,284,908
売上総利益	312,997	386,400
販売費及び一般管理費	301,796	350,691
営業利益	11,201	35,708
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	105	200
助成金収入	1,375	500
消費税等調整額	383	—
その他	2	13
営業外収益合計	1,871	720
営業外費用		
支払利息	569	624
営業外費用合計	569	624
経常利益	12,503	35,803
税金等調整前四半期純利益	12,503	35,803
法人税、住民税及び事業税	5,112	13,398
法人税等調整額	△732	△2,352
法人税等合計	4,380	11,045
少数株主損益調整前四半期純利益	8,122	24,758
少数株主利益	—	1,944
四半期純利益	8,122	22,813

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,122	24,758
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103	1,356
その他の包括利益合計	△103	1,356
四半期包括利益	8,018	26,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,018	24,170
少数株主に係る四半期包括利益	—	1,944

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,503	35,803
減価償却費	3,883	3,976
のれん償却額	—	558
受取利息及び受取配当金	△109	△206
支払利息	569	624
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,506	5,476
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,189	△18,616
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,081	11,658
未払金の増減額 (△は減少)	△2,706	6,170
未払費用の増減額 (△は減少)	5,310	△30,973
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△4,419	△2,097
預り金の増減額 (△は減少)	1,666	2,172
その他	△2,167	756
小計	16,916	15,303
利息及び配当金の受取額	109	206
利息の支払額	△563	△643
法人税等の支払額	△7,541	△16,148
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,920	△1,282
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△2,168
無形固定資産の取得による支出	△539	△2,098
子会社株式の取得に係る支出	△41,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△237	△318
敷金及び保証金の回収による収入	26,040	203
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,735	△4,382
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20,000	△4,000
配当金の支払額	△4,080	△8,236
リース債務の返済による支出	△327	△481
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,407	△12,718
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△31,222	△18,383
現金及び現金同等物の期首残高	424,956	532,881
現金及び現金同等物の四半期末残高	393,733	514,498

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

Ⅰ 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,066,548	24,932	1,091,481	—	1,091,481
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,066,548	24,932	1,091,481	—	1,091,481
セグメント利益	159,029	3,485	162,514	△151,312	11,201

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 調整額(151,312千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,616,888	54,420	1,671,308	—	1,671,308
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,616,888	54,420	1,671,308	—	1,671,308
セグメント利益	181,264	9,460	190,724	△155,016	35,708

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 調整額(155,016千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。